発行者:滋賀県立 八幡工業高校

修学旅行号

船から見た軍艦島

# 世界遺産 監島を訪ねて∞長崎市内観光



ホテルを出発し、バスは長崎市内へ。

軍艦島行きの船へ乗車し揺られること40 分、無事に到着した。この場所は1810年頃 石炭が発見されエネルギーが石炭から石油 に移った1974年頃まで採炭が行われていた。

また、1916年には、採炭量増加による人 口増加に伴い、日本初の鉄筋コンクリート 造の集合住宅も建設された。建物は倒壊が 進んでる場所が多く、あまり近くまでは行 けなかったが、いかにも廃墟といった雰囲 気が漂っていた。しかし、歴史の一部を見 れたようでとても興味深かった。

その後は長崎市内を観光。記者(藤)はせっ かく長崎に来たのでと中華街でちゃんぽん を頂いた。近江ちゃんぽんとは異なり、濃 い鶏ガラのような味のスープだった。カス テラの老舗"文明堂総本店"や眼鏡橋、市内 商店街を周り4時間の観光をした。バスに 乗車、上へ上へと上がり、宿泊地(稲佐山 観光ホテル)に到着。

食事を終え、夜9時頃屋上に上がってみ ると、長崎の夜景がきれいに見えていた。 流石は「百万石の夜景」である。



↑当時、採掘作業員の方が住んで おられたアパート



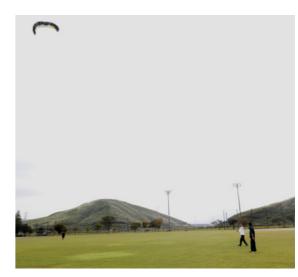
↑ホテルからの長崎市内夜景

# 

### 自然体験 阿蘇で非日常を楽しむ

ホテルを出発し、雲仙の麓の港から熊本・阿蘇まで 船で移動。各自、事前に選んだ体験を実施した。ちな みに記者(藤) はスポーツカイト(凧のようなもの) とディ スク(フリスビー)ゴルフを体験した。最初はディスク ゴルフを体験!!思ったようにディスクが飛ばず反対 方向に飛ぶこともしばしばあった記者(藤)は平均7回 ほどでゴールのボックスに入れることが出来たが中に は13回やっても入らない人もいた。カイトの操作は難 しく上げても直ぐに落ちてしまった。

記者(蔀)と(桑)はアルティメットを体験。凄そうな 競技名だが内容はフリスビーを使ったスポーツ競技で ある。ラグビーのような大戦形式で、講師の方はアス リートとして活躍しており、その技を見せてくれた。 そのときには大きな歓声が上がった。



カイトを上げている様子 左上に移るものがカイト

## 最終日!! 阿蘇を離れ博多へ

た。草原が広がり全身で緑を感じられる場所はねや総本家にて旅最後の昼食を頂いた。 だった。周辺には馬の放牧も行われており3 日目の体験で乗馬を選択した人はここに来た「中には"最後の"意味合いで京都で夕食を済ま のだろう。しかし、近くに馬刺しの店がある のは何とも言えない、ちょっとシュールな様 子だった。滞在時間は30分ほどと決して長 い時間ではなかったが、改めて自然の良さを 知った30分であった。その後は博多まで戻



ホテルを出発し、阿蘇山の麓辺りまで行っ!るためバスに揺られること約2時間。博多は

14:03発の新幹線に乗り京都駅にて解散。 せた人もいたようだ。

長いようで短かった修学旅行はこうして幕 を閉じた。訪れる機会の少ない場所だからこ その体験が各自できたのではないだろうか。 恐らくこの人数で、このメンバーで行くのは 最初で最後だろう。それこそが"Forever

memories"として記憶に残るだろう。

草千里にて



↑ 旅最後の昼食。かなり豪華だった。 博多・はねや総本家にて